



予算はどんなことに使われるの？

令和8年度予算の特徴と、身近なところでは
どんなことに使われるのかを解説します。

ヒグマ対策や
人材の確保にも
使われているんだね。



令和8年度予算のポイントは？

1 市民生活を守り、安心して快適に暮らせる街

健康アプリ「アルカサル」を本格実施し、高齢者を含む幅広い世代の
市民の日常的な健康づくり・社会参加などの活動を促進

ドローン等のICTの活用を含めた迅速・適切なヒグマの出没・捕獲対応を強化

生活環境向上への取り組みとして、路線バス運転手確保に向けた新規採用・待遇改善等の支援

2 次世代の支援・育成、未来の札幌の成長に向けた投資

子ども・子育て世帯への支援を充実させるため、夜間休日急病センターで新たに
休日の日中に小児診療を実施

海外から高度な人材・技術・豊富な資金を呼び込むための、海外企業に対する
札幌への誘致活動を実施

脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、水素エネルギーの普及・啓発、
市有施設における蛍光灯等を省エネ効果の高いLED照明に計画的に更新

子育て支援や、
海外の会社の
誘致活動にも
使われているんだね。



3 持続可能な観光都市としての発展

定山溪温泉の開湯160周年を記念した市民利用を促進する事業の実施

さっぽろホワイトイルミネーションの魅力向上を図るため、大通会場の大規模リニューアル、
駅前通会場の拡充、中島公園など都心部を想定した新たなイルミネーションを実施

観光客や市民にとって快適な交通環境を提供するために、観光地等周辺における除排雪を強化

札幌の魅力を高める
活動も大切だね。



身近なところでは、どんなことに使われてるの？

子ども・子育て支援費

966億円 | 市民一人あたり 4万9千円

・保育所、認定こども園
などの運営、整備
・子育てサロンの運営



除雪費

292億円 | 市民一人あたり 1万5千円

・除排雪作業
・パートナーシップ
排雪



ごみ処理費

316億円 | 市民一人あたり 1万6千円

・ごみの収集、運搬
・清掃工場の管理・運営



学校整備費

268億円 | 市民一人あたり 1万4千円

・学校の建替えや
改修



消防費

211億円 | 市民一人あたり 1万1千円

・災害時の消火活動、人命救助
・救急業務
・火災の予防に関する活動



高齢福祉費

124億円 | 市民一人あたり 6千円

・敬老優待乗車証の交付
・老人福祉施設の運営・整備



その他に特別会計で、介護
サービス1,884億円などが
高齢者の暮らしを支えるため
に使われています。

公園関係費

107億円 | 市民一人あたり 5千円

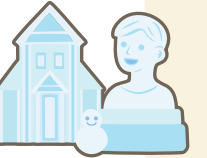
・公園の造成、再整備、
維持・管理



観光関係費

48億円 | 市民一人あたり 2千円

・さっぽろ雪まつり関連事業
・MICE関連事業(国際会議の招致など)
・海外からの観光客誘致



※宿泊税とは、市内のホテル等に泊まる人が、市に納める税金です。

